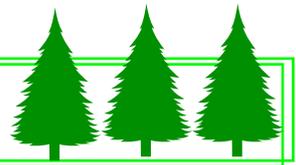


# みつぎ便り



第192号 9月号 令和4年9月1日発行 [http://itbs-ecopo.jp/environsurvey\\_report](http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report)

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

## スズメバチ

オオスズメバチは北海道から九州まで日本全国に生息して四月から十月が活動期間です。秋になると毎年、オオスズメバチによる大がかりな侵略戦争がくりかえされます。この時期、雄バチと雌バチが幼虫を育てるため、大量の餌が必要となります。オオスズメバチはこの餌を確保するため、他種のスズメバチや西洋ミツバチの巣を襲います。世界最大の狩バチであるオオスズメバチは圧



倒的な強さを持ち相手を皆殺しにその幼虫やさなぎを、自分たちの巣に持ち帰って餌にします。いかにも獍猛ですが、先日テレビでオオスズメバチに襲われたミツバチ群の対処法を見ました。小さなミツバチが数多くがオオスズメバチの体にまとわりつき、その体温でスズメバチを温めて、最後にはミツバチが勝ちました。自然界は本当にすごい。(重)

## ヘクソカヅラ

漢字で表すと「屁糞葛」となりますが、よくもこんなすごい名前をつけたものだと感心したり、かわいそうに思ったり。良く見ると花はかわいらしいのですが、枝や葉を傷つけると悪臭が漂うことから、「へくさい(屁臭)」が転化した「屁糞」というかわいそうな名前をもらったようです。英語では「スカンク・ヴァイン(くさい匂いのつる草の意)」と表現するようですので、イメージは東西であまり変わりませんね。



ヘクソカヅラは多年生のツル草で公園、道端、くさむら等でヤブにかまっているのがみられます。七、九月頃には1センチほどの釣鐘形の花を沢山つけます。また、花の内側が赤いので、切り取って肌に伏せると、お灸をすえた跡のように見えたりすることから「ヤイトバナ」と言う別称もあります。名前からのイメージはあまり良くありませんが、民間薬や漢方薬として活用されているとのことですが、毒性もあるようですので、取り扱いには十分気を付けたいものです。(利)